

審議会等の会議結果報告書

課所名

生涯学習課 公民館

会議名 令和元年度 第2回 諏訪市公民館運営審議会

開催日時 令和2年 2月12日(水) 10時 ~ 11時15分

開催場所 諏訪市公民館 視聴覚室

出席者 (委員) 北澤共司委員長 藤森とも子副委員長 伊藤美保委員 小口秀孝委員
笠原えり子委員 藤森一彦委員 馬淵ひとみ委員 宮澤薫委員
(事務局) 後藤教育次長 小林生涯学習課長 濱公民館長 橋爪主査 八田主事
宮阪主事 中澤社会教育指導員 今井社会教育指導員
オブザーバー 関教育委員
(欠席者) 飯田利夫委員 守屋修介委員
(傍聴者) 無し

資料 令和元年度事業経過報告、令和2年度事業計画

協議議題及び会議結果(要旨)

1. 令和元年度事業経過報告について
2. 令和2年度事業計画について
3. サークル活動について
4. 意見交換 テーマ「公民館事業とボランティア活動について」

公民館は「学びのまちづくり」に向け、学習講座からサークルやボランティアを育成することを目的の1つとして事業を行っている。今回の「ボランティア」は公民館事業に携わってくださる方を指す。現在男のおもしろ倶楽部ボランティア応援隊が、公民館の大きな支えになっている。公民館事業を行う上で、職員だけでは厳しい現状であることも踏まえて意見を聞いた。

○社会教育は考え、育てるが共通の言葉。学びを生かす、ボランティアが次のステップ。ここまで行くのが本当の社会教育。

○専門的な職員の削減につながってしまうのは良くないので、ボランティアに頼りすぎず、良い意味でつながっていくと良い。

○ボランティアは自主的な活動であり、強制してはいけない。

(女性セミナーなど他の講座からボランティア活動に発展できるかについて)

○具体的な活動が分かれば参加する人はいるかもしれない。

○人とのつながりが持てればできるかもしれないが時間も必要。

(男のおもしろ倶楽部ボランティア応援隊経験者の意見)

○はじめは男のおもしろ倶楽部役員はボランティアをやるのが当たり前、という話を聞いていたから参加した。だんだん互助精神の輪が広がり、自然と主体的にやる人も増えてきた。

○やることが決まっていてやりやすい。

○ボランティアのみで来る人はいない。仲間とやるから楽しいし、その後の自主的な集まり等楽しみがあるから成立している。

○主体的にやってくれる核となる人が、ボランティア側と依頼する側にいるかどうか。

○強制はだめ。また、負担が大きい仕事だと続かない。

●意見交換まとめ

ボランティア活動の成立には、・やることが具体的であること・ボランティア同士のつながりがあり仲間がいること・楽しみがあること・ボランティア側と依頼する側に核となる人物がいることが必要である。